

令和5年度 利用者満足度アンケート集計結果

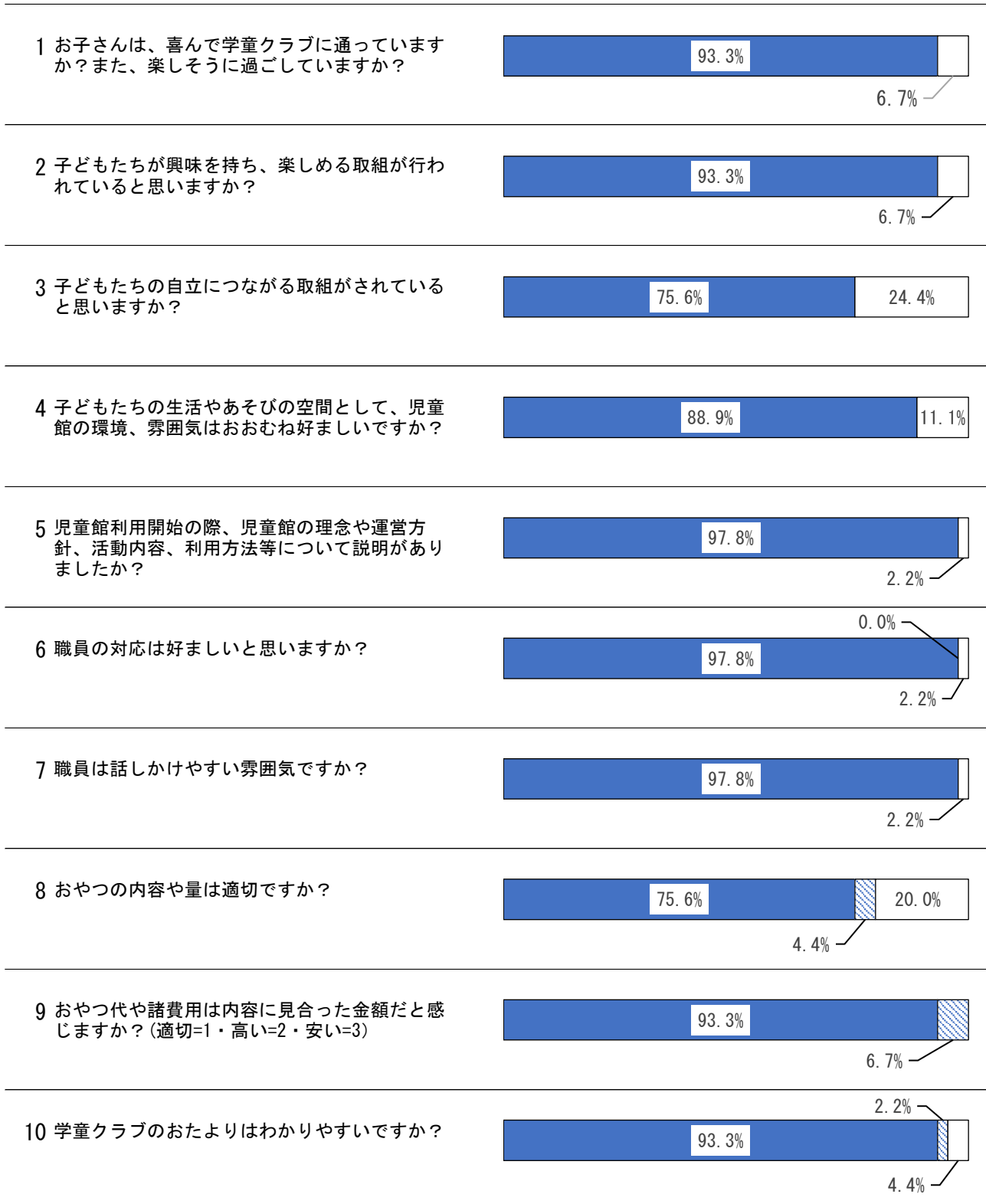
(学童クラブ保護者対象)

施設名：嵐山東児童館

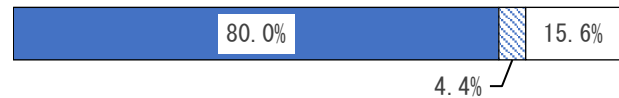
配付枚数	60	回収枚数	45
------	----	------	----

アンケート用紙配付期間：令和5年10月

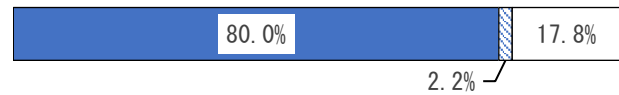
はい
 いいえ
 わからない・無回答
 (設問9) 適切 高い 安い



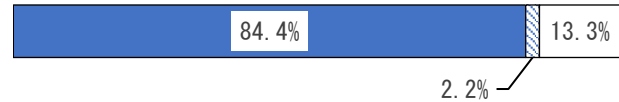
11 台風、地震、火災等の対策や緊急時における連絡体制は整っていると思いますか？



12 感染症対策や施設全体の衛生管理など、衛生面での配慮がなされていると思いますか？



13 児童館は、防犯対策など、安全面の配慮がなされていると思いますか？



14 お子さんや保護者の皆様の個人情報やプライバシーに配慮がなされていると思いますか？



15 障害のある子どもへの配慮がなされていると感じますか？



16 児童館は地域と連携が取れていると思いますか？



★ 学童クラブ事業について、ご意見・ご要望がありましたら自由にお書きください。

- ・ いつもありがとうございます・楽しく通っています・今後ともよろしく願います
- ・ 遠足・グラウンドあそび・外遊び・お泊まり・キャンプ・おやつ作り（高学年）があればよい
- ・ 子どもの居場所になっている
- ・ ランチデー再開がうれしい・地域の方と交流できる
- ・ おやつはスナックばかりでは栄養面が心配、おにぎり・ふかしもち・くだもの・おだんご等食育も兼ねてやって欲しい
- ・ 人数に見合った児童館の広さが欲しい
- ・ 長期休暇中や土曜日の有料でのお弁当提供（毎日じゃなくてよいが）
- ・ 四谷大塚の事件もあって、職員採用の際、犯罪歴のチェックや職員内での内部通報の仕組みなど自浄作用が働く取組を強化していただきたい。その上での若い男性職員ならより安心できる。
- ・ アプリ導入が便利で良い

令和5年度 利用者満足度アンケート集計結果

(学童クラブ登録児童対象)

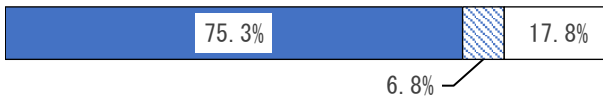
施設名：嵐山東児童館

配付枚数	73	回収枚数	73
------	----	------	----

アンケート用紙配付期間：令和5年10月

■ はい ■ いいえ □ わからない・無回答

1 学童クラブは楽しいですか？



2 児童館の中でゆっくりできる場所がありますか？



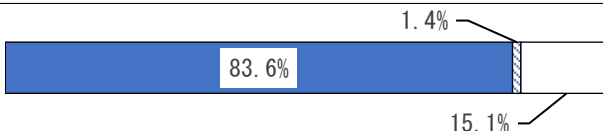
3 児童館の先生といろんな話ができますか？また、話しやすいですか？



4 具合が悪くて元気のないとき、先生は声をかけてくれましたか？



5 台風や地震、火災がおこったとき、どのように避難するか、知っていますか？



★ 児童館で危ないと思う場所があれば、どこが危ないか教えてください。

- ・ ロッカーの角 ・ 児童館が狭いのに走る人がいるから危ない
- ・ 階段 ・ 水道の近く ・ 床が滑る ・ ソファでジャンプすること

★ 児童館で、「こんなことしたいなあ」と思うことがあれば自由に書いてください。

- ・ 児童館が広がったらいいのに ・ お弁当を仲間内で食べたい
- ・ 本を増やしてほしい（カービィ・ブラックジャック・ブリーチ・昔話・ばらかもん）
- ・ クラブを増やしてほしい（おてだま・ずこう・ダンス・レゴ・ラキュー）
- ・ おもちゃを増やして（シルバニア車・レゴパーツ、ボーリング・おりがみ・ままごと）
- ・ おもちゃを増やして（ルービックキューブ14×14・マンカラ・ポケモンカード）
- ・ スライム・工作・ドッジボール・おにごっこをしたい・折り紙の一日使用量を増やす
- ・ おもちゃを増やしてほしい（ぬいぐるみ・けん玉・こま・仮面ライダーベルト）
- ・ 本を増やしてほしい（10歳までによみたい本・飛行機）

アンケート結果を受けて

＜嵐山東児童館＞

■学童クラブ（保護者向け）

子どもが楽しそうに通っている、子どもが興味を持った取組ができているという項目に高い評価をいただいた。常に子ども主体とし職員は後方支援であるという意識のもと取組をしてきたことを理解いただけたと感じている。

職員の対応や話しかけやすい雰囲気にも高い評価をいただいた。保護者に対し、一期一会を大切にしながら子どもの成長を共に見守りたいという職員の思いが伝わっていると感じている。これからも職員の適切な児童の処遇に関する研修等の実施により、職員の資質向上に向け積極的な取組を引き続き行っていく。

おやつについては、市販のお菓子の他に果物や焼き芋等を出し工夫している。おやつ諸費については、物価高騰も視野に入れ検討する。

緊急時の連絡体制や感染対策や衛生面、防犯対策についても、「いいえ」や「わからない」が見受けられるので、伝え方について再度見直し、知っていただく機会を作りたい。

今後も障害のある子どもだけでなく、すべての子どもが楽しく過ごせるよう、安心安全な居場所となる児童館を目指していく。

■学童クラブ（児童向け）

学童クラブは楽しいか、ゆっくりできる場はあるかについては、「いいえ」の回答が大幅に少なくなり、低学年だけでなく高学年にとっても居心地のよい居場所となっていることを実感している。ただ、「わからない」の回答もあるため、「あのねボックス」の設置などで、声にならない思いを受け止め、全ての子どもの居場所となれるよう検討していく。

職員との話しやすさや、具合が悪い時声をかけてくれるかについては、「いいえ」や「わからない」の回答が減ってはいるものの、いつでも心を開いて頼ってもらえる職員でいれるよう自己研鑽していく。

避難訓練を定期的に行っているため、避難方法を知らないという割合は大幅に減っている。引き続き避難訓練は繰り返し行い、もしもの時に落ち着いて行動できるよう取り組んでいく。